

食中毒警報 第12号

警報発令期間

令和8年(2026年)

9月4日(金)午前10時から
9月7日(月)午前10時まで

警報発令理由

休日において日最高気温
28℃以上が予想されるため

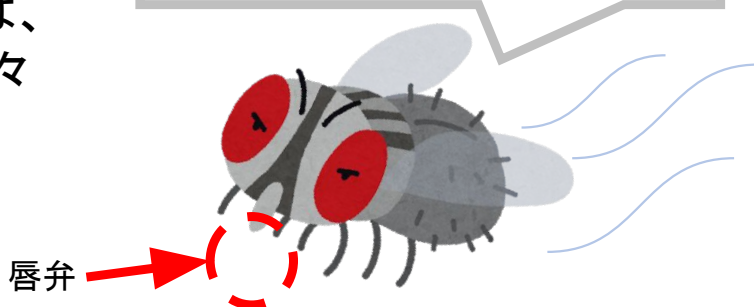
病原体を運ぶハエ類 ～昆虫対策の重要性

ハエ類の中には、腐った肉、糞便などから栄養分や水分を摂取する種類がいます。これらが様々な食品上にとまって摂食するので、病原菌による汚染の原因となります。

腸管出血性大腸菌O157を運ぶことが知られているイエバエは、口吻の先端部(唇弁)の内部空間にO157を取り込みます。

ハエの消化管に取り込まれたO157は、体内で数日間生存し続け、ハエが様々な食品上にとまって排泄するときに、O157を食品上にばらまきます。

イエバエの中には、20分間の食品上で摂食している間に、3～4回食品上で排泄するものもいるよ！



ハエ類が様々な食品の上を歩き回ることによって、細菌類がばらまかれた後、温度・水分・栄養等の条件がそろえば、食品上で細菌が増殖し、**食中毒の原因となる可能性があります。**

昆虫対策は食中毒予防にもつながりますので、適切に行い、記録を保管しましょう。

問い合わせ先

札幌市保健所西衛生担当課(西保健センター生活衛生係)

TEL:011-621-4247、FAX:011-641-0392

メール:nishi.eisei@city.sapporo.jp